



# 日本遺産「大山詣り」

江戸庶民の信仰と行楽の地  
～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～

## ■日本遺産に認定されたストーリーの概要

大山詣りは、鳶などの職人たちが巨大な木太刀を江戸から担いで運び、滝で身を清めてから奉納と山頂を目指すといった、他に例をみない庶民参拝である。そうした姿は歌舞伎や浮世絵にとりあげられ、また手形が不要な小旅行であったことから人々の興味関心を引き起こし、江戸の人口が100万人の頃、年間20万人もの参拝者が訪れた。

大山詣りは、今も先導師たちにより脈々と引き継がれている。首都近郊に残る豊かな自然とふれあいながら歴史を巡り、山頂から眼下に広がる景色を目にしたとき、大山にあこがれた先人の思いと満足を感じることができる。



神奈川県伊勢原市

問合せ：教育委員会文化財課  
伊勢原市田中348 ☎0463-94-4711



※日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに全国で100件程度の認定が予定されています。